DREAMING

Heart of the Dreaming 私たちは「心温かい信頼の医療」を目指しています。

知っておきたい
病気のはなし

身近にひそむ病気の話や
覚えて役立つ医療の
情報をお届けします。

閉塞性動脈 硬化症について

循環器科医長 佐々木 敏樹

閉塞性動脈硬化症とは

動脈硬化は、全身の血管に起こり、様々な病気の原因となります。脳へ血液を届けている頸動脈や脳動脈の動脈硬化により「脳梗塞」が起こります。また、心臓の冠動脈の動脈硬化により「狭心症」や「心筋梗塞」が起こります。そして、足への動脈に動脈硬化が進んで血流障害を起こす病気が「閉塞性動脈硬化症」なのです。

閉塞性動脈硬化症になりやすい人とは？

閉塞性動脈硬化症は、50歳以上の男性、とくに喫煙者（ヘビースモーカー）に起こりやすいといわれています。しかし、もともとは動脈硬化が原因であるため、その危険因子とされる高脂血症、高血圧、肥満、糖尿病などがある人、喫煙の習慣がある人は年齢性別にあまり関係なく、発症する危険性があります。

閉塞性動脈硬化症の症状とは？

閉塞性動脈硬化症は一般的に徐々に進行する病気です。その病期は以下の4つに分類されます。

I度	冷感やしびれを感じる。
II度	ある一定の歩行距離で痛みにより歩けなくなり、しばらく休むとまた歩ける。
III度	安静時にも痛みが現れる（とくに夜間に痛むことが多い）。
IV度	皮膚がじくじくしたり（潰瘍）足先が腐って変色（壊疽）する。

このうちI～II度の患者さんが全体の60～70%を占めています。ただし、冷感やしびれで医療機関を受

診する人は少ないため、治療対象になる大部分はII度の患者さんです。また、III～IV度に進んでしまった後に、実績のある医療機関で治療を受けても、20～30%の患者さんは足の切断をまぬがれません。さらに閉塞性動脈硬化症の患者は、心筋梗塞や脳梗塞を引き起こす危険性が高く、欧米では足の血行障害を早めに見つけることが重要だといわれています。したがって、II度のうちに発見し適切な治療を行うことが最も大事なのです。

足の痛みの原因が神経性か血管性か見分けることが重要

しびれや痛みをともなう足の病気には、①神経が圧迫されて起こる脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニアなど「神経性の原因」によるものと、②足の動脈硬化が進み、血管が狭くなったりつまったりすることによる「血管性の原因」によるものがあります。

■原因ごとの特徴と受診する診療科

神経性の原因	<ul style="list-style-type: none"> 前かがみになるなど取る姿勢によっては痛みが出ない 歩き続けることができたり、歩ける距離が長いこともある 	整形外科
血管性の原因	<ul style="list-style-type: none"> 足が冷たい、しびれるといった自覚症状がある どのような姿勢になって歩いても痛みが出る 歩ける距離はいつも変わらない 立ち止まればしばらく休むと痛みが消える 	循環器科 もしくは 血管外科

血行再建では血管内治療が選択される傾向に

治療のポイントは、狭くなりつまりかけた血管の状態を改善し血液の流れをよくすることです。それには

「保存療法」と「血行再建」の二つの方法がありますが、軽度～中等度（Ⅰ～Ⅱ度）の場合、まず保存療法（薬物療法、運動療法）が行われます。これらの方法で改善しない場合、あるいは重症化（Ⅲ～Ⅳ度）している場合は血行再建の対象となり、血管内治療またはバイパス手術が選択されます。

最近の傾向としては、メスや全身麻酔を使わず体に対する負担の少ない治療法として注目される血管内治療を、まず行うケースが増えています。

閉塞性動脈硬化症の検査とは？

閉塞性動脈硬化症を調べるには、ABI (ankle brachial index) 検査という簡単な検査を行います。ABIは、両腕と両足首の4か所で同時に血圧を測り、自動的に分析する「血圧脈波検査装置」を用いて検査します。通常は下肢（足関節）の血圧は上肢（腕）の血圧と同じか少し高いのですが、この比が0.9以下の時は、

下肢の動脈に狭窄または閉塞が疑われます。また、血圧の左右差を知ることも重要で、これも同時に検査できます。

ABI検査は痛みを伴いません。心電図を検査するベッドに横になり、腕と足首を出して、約10分安静に横になっているだけです。

診断がつけば、次に治療のための検査を行います。超音波、CTスキャン、MRIなどの画像診断機器を使い、「どの部分が、どれくらいつまっているのか」を調べます。入院の必要はなく、外来で検査できます。

足のしびれや痛みを放置すると

以前から欧米では足と生命予後の関連が高い関心を集め、さまざまな研究が行われてきました。それらにより足のしびれや痛みを放置したままにすると、心筋梗塞や脳卒中など重大な病気に進展し、早死にすることが明らかになっています。足の健康に気を付けることは、生命予後（長生きできるかどうか）の観点からいっても、実はとても大切なことなのです。

足の症状でお困りの方は一度受診し相談して下さい。

次回は、
外科・鈴木幸正の
「乳腺のはなし」です。

新任医師紹介

氏名 鈴木 幸正
職名 外科部長
出身地 山形県山形市
趣味 野球、旅行

みなさんはじめまして、今度4月より東北中央病院外科へ勤務させて頂くことになりました鈴木幸正と申します。よろしくお願ひします。私は生まれも育ちも山形ですが、高校卒業後ずっと山形を離れておりましたが、約30年ぶりに帰ってくることができました。懐かしい気持ちでいっぱいです。以前いた病院では、主にごん診療を担当していました。武藤先生、浅沼先生の後任として、大変荷が重いのですが病院へ少しでも貢献できるよう、精一杯頑張りたいと思います。

氏名 いなむら かずとし 稲村 和俊
 職名 耳鼻咽喉科部長
 出身地 東村山郡山辺町
 趣味 長距離ドライブ

初めまして、耳鼻咽喉科の稲村和俊と申します。生まれも育ちも、山辺町大字山辺になります。平成2年に山形大学耳鼻咽喉科医局に入局しました。入局後は、村山地方、庄内地方、置賜地方、最上地方の病院に勤務しました。山形県内だけではなく、岩手県、福島県の病院でも働きました。前任地の県立河北病院には9年5ヶ月お世話になりましたが、縁あって平成25年4月より東北中央病院にお世話になります。専門は、免疫アレルギー学と鼻科学になります。具体的には、アレルギー性鼻炎（特にスギ花粉症）と副鼻腔炎の診断、治療（手術を含む）になります。新戦力になれるよう努力しますので、よろしくお願いいたします。

氏名 ぬのかわ ひろこ 布川 浩子
 職名 麻酔科部長
 出身地 山形県白鷹町
 趣味 なし

今までは、手術麻酔を中心に、依頼があれば、人工呼吸管理やペインコントロールを行ってきました。ここ数年は手術麻酔のみを行っている状態で、ペインや人工呼吸に関する知識が古くなっているなあと痛感しております。

氏名 まつだ みちはる 松田 倫治
 職名 整形外科医長
 出身地 宮城県仙台市
 趣味 音楽、自転車

平成25年4月より、山形県新庄市から転勤してきた松田倫治です。山形県米沢市で初期研修を行っており、今回で山形県内の勤務は3ヶ所目となります。よろしくお願いいたします。

氏名 ささじ たつろう 笹治 達郎
 職名 整形外科医長
 出身地 大阪府
 趣味 スキー

4月から勤務している整形外科の笹治達郎です。これまでは宮城県の病院を中心に、福島県や岩手県で勤務しており、初めて山形県で勤務することになります。山形の言葉に悪戦苦闘しながら、毎日過ごしています。毎週水曜日に外来を担当することになっていますので、専門である脊椎の分野で病院に貢献し、地域の皆さまにも喜んでいただけるよう精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

氏名 はせがわ ななえ 長谷川 七重
 職名 放射線科医長
 出身地 青森県東郡蓬田村
 趣味 茶道

はじめまして。4月から当院放射線科に勤務することになりました長谷川七重と申します。私の主な仕事は、CTやMRI等で撮影された写真を読んで、病気の状態を判断する「画像診断」というものです。病院内各科の医療を支える緑の下の力持ちと自負しております。患者の皆さまとは直接接する機会は少ないのですが、画像を通して患者の皆さまにしっかりと向き合っており、毎日になります。誠心誠意頑張っております。山形大学入学・卒業以来、ずっと山形で勤務しており、これまでの人生の半分以上を山形で過ごしてきました。私にとって山形は第2の故郷となっております。これからもよろしくお願いいたします。

資格
紹介

〔福祉住環境コーディネーター〕

病院では、様々な資格を持った人が活躍しています。その資格や人物にスポットライトを当てるコーナーです。

〔左から鈴木、安藤(一)、大場、安藤(優)の各福祉住環境コーディネーター〕

福祉住環境コーディネーターとは？

現在、人口の4分の1が、65歳以上の高齢者と言われる高齢化社会です。そして、さらに高齢化が進む中、高齢者や障害者の方に対して暮らしやすい住宅の改修プランや快適な住環境をアドバイスするのが、福祉住環境コーディネーターです。

今まで、高齢者や障害者の方々に対する住環境（住宅をはじめ、福祉用具、介護用品など）の整備は、ソーシャルワーカーやケアマネージャー、建築関係者、理学療法士などさまざまな専門家が関わってきました。

それぞれの立場から住環境のアドバイスを行うと、どうしてもその専門領域に偏りがちになってしまいます。そこで、高齢者や障害者の方々和各専門家の間を取り持って、快適な住環境をコーディネートする「福祉住環境コーディネーター」という福祉の民間資格が生まれました。

福祉住環境コーディネーターの主な仕事

「高齢になって体が不自由になっても、また病気や障害があっても、住み慣れた家で暮らしたい」という、ニーズを受けて、福祉住環境コーディネーターは高齢者や障害者の方々の住まいを、建築士やケアマネージャー等の専門職の方と連携をして、住みやすいように設計からリフォームプランの提供などに加え、福祉用具（車

椅子、電動ベッドなど）、介護用品（入浴用品、手すり）などの選択や利用法のアドバイスなどを行います。

たとえば…

和室と洋室の間の段差でつまづいたり、浴室ですべって転んだり、今までの住宅構造では高齢者や障害のある方にとっては、多くの負担があり決して住みやすい住環境とは言えません。

そこで、こういった不都合や負担を軽減するために、福祉や建築など専門家の方たちと連携して、段差解消、階段への手すりの設置、浴室の床を滑りにくい材質にしたりと、高齢の方や障害者の方たちの目線になって、それぞれのニーズに合わせた住宅プランを提供するのが主な仕事になります。

福祉住環境コーディネーターとして…

当院には4名（理学療法士2名、作業療法士2名）の福祉住環境コーディネーターがいます。

実際に、患者様を交えての話し合いでは、身体機能面を第一に考え、福祉用具・介護用品の選択、段差解消、手すりの設置などのアドバイスを行っています。また、介護保険をお持ちでない方たちにも、家屋構造をお聞きし、アドバイス等行っています。

多様化する住宅構造に対応するためにも、研修会・セミナーなどに積極的に参加し、知識の習得に励んでいきたいと思っています。

これからも、自宅で安全かつ安心して生活を送っていただけるよう、環境調整に関する的確なアドバイスを目指していきたいです。

（文：鈴木）

おじゃまします！ 内科病棟ナースのお仕事

6階病棟は、循環器科・整形外科の混合病棟です。循環器科は主に、虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）、心不全、不整脈発作、脳梗塞の患者さんが入院しており、整形外科は腰椎・頸椎の手術前・手術後、圧迫骨折などで保存的に治療を行っている患者さんが入院しています。

毎週火・金曜日は心臓カテーテル検査の日で、虚血性心疾患の方の検査・治療を行います。その他にも、火曜日は病院長による整形外科の回診や、火・

金曜日にシャワー浴介助、水曜日にはリフトバス（寝たまま入れるお風呂）介助など、曜日によって決まったイベントがあります。

また看護師は3交代制で24時間看護体制をとっているため、準夜勤務、深夜勤務の場合には、違った業務がありますし、内科・外科病棟によって日々の動き方は多少異なる所もありますが、今回は6階内科病棟の日勤業務の1日（8:30～17:15）をご紹介します。

時間	項目	業務内容
	情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ●カルテ（病名、指示、検査や処置の予定、検査データ、服薬内容、状況、点滴内容、看護記録等）、内服ファイル等を把握する ●ナースコールやベッド策の位置確認、周囲の環境整備を行う
8:30	申し送り	<ul style="list-style-type: none"> ●深夜勤務者からの申し送りを受ける
8:35	患者さんへあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ●担当の患者さんへ朝の挨拶 ●患者さんの様子を確認する
	業務ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ●チーム員が患者さんとカルテから得た情報を伝達共有する
9:00	ラウンド 指示受け 点滴準備	<ul style="list-style-type: none"> ●優先順位を考えながら、検温・輸液・ケア・内服薬準備をする ●追加・変更指示を受け、リーダーに報告する ●担当する患者さんの点滴伝票と点滴を準備し、リーダーとダブルチェックする
10:50	リーダーへ報告	<ul style="list-style-type: none"> ●チームリーダーへ患者さんの状態と、業務・ケア・検査の進行状況等を報告する
11:30		<ul style="list-style-type: none"> ●食事の配膳、食事の介助、配薬、口腔ケア、下膳
13:00	医師・リハビリカンファレンス	<ul style="list-style-type: none"> ●医師・理学療法士と情報共有し、今後の方針などを話し合う
13:30	患者カンファレンス	<ul style="list-style-type: none"> ●サブリーダーを中心にチーム毎行う
14:00	ラウンド	<ul style="list-style-type: none"> ●担当患者ラウンド（検温・体交・おむつ交換）
14:30	リーダーへ報告	<ul style="list-style-type: none"> ●患者さんの状態や、業務進行状況を報告 随時、記録を進める
15:30	申し送り	<ul style="list-style-type: none"> ●チームリーダーへ担当患者さんの状態等を申し送りする
16:00	ラウンド	
17:00	終了ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ●師長・総リーダーからの連絡事項、業務状況の報告
17:15	業務終了

常にリーダー、サブリーダーへのホウレンソウ（報告・連絡・相談）を徹底しています。

指示の内容とあっているかダブルチェックしています。

多忙な業務の中でもミスの無いよう、ダブルチェックやホウレンソウを徹底し、明るく笑顔で「心温かい信頼の看護」が提供できるよう日々努めています。

CT室のドア

放射線科 部長
(広報委員会委員長)

大竹修一

「何科のお医者さんなの？」と初対面の人に聞かれて、「放射線科」というと、怪訝そうな表情で、X線写真を撮影する放射線技師の仕事と勘違いされやすい。内科や外科の医師と違って、患者さんと接することが少ないので、仕方ない。

現在、放射線科の仕事は大きく二つに分かれており、癌の放射線治療を行う放射線治療医と、CTやMRIなどの画像を見て診断に結びつける画像診断医である。自分は「放射線診断医」である。毎日、病院の奥の部屋に閉じこもって、パソコンのモニターを一日中眺めて、多い日には100件を越す検査と格闘している。最近の技術の進歩で、一人の検査で作成する画像は、1000枚を超えることも珍しくなく、診断精度もよくなる分、「眼」の負担も増える一方である。典型的なデスクワークであり、親切なスタッフが、お茶を運んでくれて、資料も手元まで届けてくれるので、歩くのはトイレだけの日も多い。ちょっと、油断すると、すぐに太ってしまって、中性脂肪の値も目を覆う惨状となる。炭水化物を減らしても、バナナダイエット?!程度の努力をしても、そう簡単には体重は減らないのは医師だって同じ。健康的に努力なくできるダイエットがあれば、是非、教えてほしいものだ。

CTやMRIなどの検査は、日々、スリリングである。一枚の画像が、患者さんの人生を大きく変えることがあるからだ。長年、下肢痛で苦しんできた人のMRI検査で、たまたま撮った拡散強調画像に見つかった神経鞘腫の場合は、手術で症状が消失して喜ばれた。他病院でなかなか分からなかった腰椎

ヘルニアが、一枚の画像の端にわずかに見えて、手術ができた事例。CT検診で、1cm程度の淡い肺の陰影を、半信半疑で、念のためにチェックした方から、後日、肺がんであったとの報告があったり、検診CTの検査範囲の最後の画像にたまたま、写っていた腎臓がんを手術できて命拾いをした患者さんも一人二人ではない。患者さんの後ろにいる家族の事を思うと、一枚の画像の持っている意味は重い。一方で、毎年、きちんと検診を受けてきたのに、たまたま、前回検査との時間があいての再検査で、進行した肺がんが見つかる患者さんなどもおり、人の持っている「運命」のようなものを感じる時もある。

喫煙によって高度な肺気腫(COPD)となった患者さんも、毎日のように見る。読影室に招き入れて直接、肺CTの説明をすることもある。多くは自分の現状に驚き、「知らなかった」と絶句する。肺気腫(COPD)の初期は、X線写真では肺が壊れて透過性があがって、むしろきれいな肺に見える。検診で肺の写真をチェックされない喫煙者ほど、要注意だと思う。自分のCTやMRIを直接見ることは、医師が思っているより、はるかに別次元の繊細で怖いものなのだと思う。どんなに状況が厳しい場合も、前向きなアドバイスを添えて笑顔で離席できるように心がける。

東北中央病院のCT室のドアはいつもオープンしている。多くの病院では、操作室は締め切って、中をのぞき見ることもできないのが普通である。当院では、開設当初からドアはあるが、閉めたが事がない。CT検査を受ける方には、重篤な症状の方も多く、様々な急変、トラブルなどの不測の事態も少なからずある。造影剤の使用で、予期しないアレルギー症状などが起こる場合もある。どのような事態になっても、正直で隠し事をしたくないという気持ちから、ドアは開けておこうと思っている。廊下に座って待っていると、スタッフの余計な雑談がもれることもあるが、それも、一興だろう。検査においてになったら、お気軽に、中をのぞいて、声をかけて欲しいと思う。

次回は、耳鼻咽喉科・稲村和俊が担当します。

クリニック探訪(21) 十日町ようこクリニック

この連載では、病診連携でお世話になっている施設が、どんな医療を展開しておられるのか、お話を伺っています。

プロフィール ふか せ よ う こ
☆院長 深瀬洋子 先生

【内科・女性内科】

☆いつ開業 平成21年9月7日
☆スタッフ 深瀬洋子院長、看護師2名、
医療事務2名
☆診療時間 月～土
9時00分～12時30分
14時30分～18時00分
水曜・土曜午後は予約制
☆休診日 木曜日・日曜日・祝日

〒990-0031
山形市十日町3丁目2番8号
023-623-9200
ホームページ <http://yoko-clinic.jp/>

Q：先生が開業したきっかけは何ですか？

A：長い間、東北中央病院で患者さんの治療に従事していましたが、お薬だけの治療でなかなか改善しない病気や症状があることに悩んでいました。また、自分自身も中年以降体調不良に陥り、医療のお世話になったものの、なかなか改善せず困っていました。なんとか根本から治して健康になる方法はないかと学んでいくうちに、栄養素を治療に用いる方法を知りました。自ら不足している栄養素を摂取し、生活習慣を変えることで、体調不良から回復し、今では当時よりもはるかに元気になり、若返った気がします。このような経験から、病院とは一味違う栄養に着目した治療も行いたいと思いクリニックを開業しました。

Q：日々のクリニックの様子を教えてください。

A：風邪や腹の症状、高血圧や減量の相談などで、女性患者さんや中高生がいらしています。少数ですがもちろん男性患者さんもありますよ（笑）日頃から診察や検査だけでなく、なるべく栄養に関する指導を行うように心掛けています。また、栄養の治療を受けたいと県内外から様々な悩みをお持ちの方が来院されます。寝起きが悪い、全身の痛み、頭痛や立ちくらみ、慢性の皮膚炎、集中できない、落ち着きがない、婦人科的な問題が無いのに妊娠しないなど実に多彩です。こうした患者さん達が「栄養の力」で改善していくのを見て、スタッフ共々喜んでおります。

Q：東北中央病院に対する要望等がありますか？

A：器質的な疾患を見逃さないために、よく東北中央病院にCTやMRI、内視鏡検査などの画像検査をお願いしておりますが、いつも迅速に対応していただき感謝しております。また、時々各科に専門的な診察を依頼しておりますが、親切丁寧な診察をしていただき、紹介した患者さんからも喜ばれております。今後どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(インタビュー：長谷川、写真：加藤)

数字でみる東北中央病院

このコーナーでは、「数字」を通して東北中央病院を紹介しています。

506

この数字は、平成24年度に当院で最も多く行われた手術である『椎弓形成術』の件数です。手術を受けたのは、20代から90歳までの幅広い年齢層の方で、大半が山形県内の方ですが、県外の方もいらっしゃいました。

脊椎の手術は危険だ！というイメージを持っ

てらっしゃる方もいるかと思いますが、安全性は高く、症状が改善する可能性の高い有効な治療と言えます。ただし、痛みがあるから即手術ということにはなりませんので、まずは外来診療にお越しください。症状や患者さんの生活を考え、手術が必要か選択します。

月曜日と木曜日には、田中病院長による脊椎外来も開設しておりますので、お気軽にご相談ください。

「東北中央病院・沼の辺」行き!!

今までは「沼の辺」行きとなっていた山交バスが、平成25年4月より「東北中央病院・沼の辺」行きと案内表示が変更されました。バスを利用する方も、利用しない方も、山交バスをチェックしてみてください。

Photo Sketch

東北中央病院 / 歳時アルバム

季節の催し

病院の所々に、スタッフが作成した作品が展示してあります。皆さんも探してみてください。

専門外来のご紹介

名 称	曜 日	時 間	予約制	担当医
脊椎外来	毎週月曜日	9:00～11:30 13:30～17:00	予約制あり	田中靖久
	毎週木曜日	9:00～11:30 13:30～16:00		
膝関節外来	第1・3・5水曜日	14:00～	完全予約制	上村雅之
肩・肘 スポーツ障害外来	第2・4水曜日	14:00～16:00	完全予約制	田中 稔
乳腺外来	毎週月・金曜日	9:00～11:30 13:30～15:00	なし	齋藤善広
	毎週木曜日	9:00～11:30 13:30～15:00	なし	鈴木幸正
肛門外来	毎週木曜日	8:30～11:30	なし	設楽英樹
そけいヘルニア(脱腸)外来	毎週木曜日	8:30～11:30	なし	設楽英樹
睡眠時無呼吸外来	隔週木曜日	14:30～16:30	なし	大竹和久
腎臓・リウマチ膠原病外来	第1金曜日	9:00～11:30	なし	今田恒夫
肝臓外来	毎週火曜日	14:00～15:30	予約制あり	渡辺久剛

*都合により、休診となる場合もあります。

編集後記

希望と緊張が垣間見えるこの季節、特に今年の4月は医師の異動が多く、看護師だけではなく様々な職種の新しい顔ぶれが病院の廊下を歩いています。

今回のDREAMINGでも、皆さんのもとへ「心温かい記事をお届けしよう」と新コーナーを立ち上げたり、一部リニューアルしたりしていますが、いかがでしたか？

某予備校講師の「いつやるの？ 今でしょ！」が流行していますが、広報誌作成班も「いつやるの？」と尻を叩かれたいよう、今年も頑張っていきます！(K)

公立学校共済組合 東北中央病院

〒990-8510 山形市和合町 3-2-5
TEL 023-623-5111 FAX 023-622-1494
www.tohoku-ctr-hsp.com
E-mail: jimu@tohoku-ctr-hsp.com

■発行責任者／田中靖久 ■編集／広報委員会

東北中央病院
ホームページへ
GO!

ご利用の携帯端末によっては、アクセスできない場合があります。